

アスバル 超音波ホッチキス

QUPPA “キュツパ”

- 取扱説明書 -



警告： あなたの安全を守るため、操作の前に必ずこの取扱説明書をよく読み、十分内容を理解してください。

警告： この取扱説明書は常に機械操作に便利な所定の場所に保管し、必要な時にすぐに読めるようにしてください。

朝日産業株式会社

はじめに

このたびは当社製品をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

- あなたの安全を守るため、操作前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分内容を理解してください。
- この取扱説明書をお読みになった後は、紛失・損傷の発生しない場所に保管し、必要なときすぐに読めるようにしておいてください。
- あなたがこの製品を転売または譲渡する場合は、この取扱説明書を新しい所有者にお渡しください。
- この取扱説明書に書かれていない使用方法、あるいは間違った使用方法を行った結果において招いた人身事故および物的損傷に対しては当社は一切の製造物責任法（PL法）上の責任を負いません。









・本書の内容の一部、または全てを無断で転載することはおやめください。
・仕様変更等により、本書の内容と一部異なる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
・本書の内容についてご不明な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら、お手数ですが弊社もしくは裏表紙に掲載の各営業所までご連絡ください。







目次









1. 安全上のご注意(必ずお読み下さい)	P2
2. 仕様一覧表 ・ 各部の名称	P6
3. 空打ち防止機構 ・ ハンドピースの収納	P7
4. 操作方法	P8
5. 溶着金具の交換方法 (別売)	P9
6. 故障と思われる前に	P10
7. お手入れ	P11
8. アフターサービスについて	P12
9. 保証書	P13

1. 安全上のご注意(必ずお読みください)

「安全上のご注意」では、本機をご使用になる人や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するために重要な注意事項を説明しています。

シンボルマークの定義について……	
 警告	:記載事項を守らないと、死もしくは重傷となる事故を招く恐れのあるもの
 注意	:記載事項を守らないと、軽傷を招いたり、他の物的財産に損害を及ぼす恐れのあるもの
表示の例	
	:の記号は「してはいけないこと」を意味しています。
	:の記号は「しなければならないこと」を意味しています。
	分解禁止
	接水禁止
	電源プラグを抜く
	一般的な指示

⚠ 警告	
	<p>水をかけないこと。また、水のかかる場所に置かないこと。</p> <p>●故障の原因となるほか、感電やショートの原因になります。</p>
	<p>改造や分解はしない。</p> <p>●絶対に分解したり、修理・改造をしないでください。 火災・感電・けがの原因になります。</p>
	<p>子どもだけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しない。</p> <p>●感電・けがの原因になります。</p>
	<p>開口部やすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。</p> <p>●感電やショートの原因になります。</p>
	<p>次のような環境では絶対に使用しないこと。</p> <p>※直射日光が当たるなど高温となる場所 ※チリやホコリ・腐食性ガスの発生する場所 ※振動・衝撃の多い場所 ※濡れた場所・湿気の多い場所</p> <p>●これらを守らないと故障の原因となるほか、場合によっては感電など重大な事故を招く恐れがあります。</p>
 ぬれ手 使用禁止	<p>ぬれた手で差込みプラグ、操作部を絶対にさわらない。 また、水等をこぼさない。</p> <p>●感電の恐れがあります。万一こぼしたときは、直ちに使用を中止してください。</p>

⚠ 警告	
	<p>本体及びハンドピースを倒したり、落としたり、強い衝撃を与えない。</p> <p>●故障の原因になります。</p>
	<p>コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重たいものをのせない。</p> <p>●コードが破損し、火災・感電の原因になります。</p>
	<p>差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く。</p> <p>●感電・ショート・発火の原因になります。</p>
	<p>使用時以外または、臭いや煙が出る等の異常があった場合は直ちに電源スイッチを切り、差込みプラグをコンセントから抜く。</p> <p>●事故の原因になります。</p>
	<p>溶着金具(チップ)の取り付け、取り外し、およびお手入れの際は、電源スイッチを切り、差込みプラグをコンセントから抜く。</p> <p>●けがの原因になります。</p>
	<p>コードだけを持って本体を移動しない。</p> <p>●故障や事故の原因になります。</p>
	<p>コードや差込みプラグが傷んだり、破損している時は使用しない。</p> <p>●感電・ショート・発火の原因になります。</p>
	<p>使用中はコードを抜かない。</p> <p>●差込みが不十分だったり、差込みが抜けても動作しませんが、誤動作の原因にもなります。</p>

⚠ 警告	
⊘	発振中や使用直後はホーンに触れない。 ●火傷など、けがの原因になります。
⊘	目的以外のものの溶着はしない。 ●物的財産への損害の原因になります。
⊘	ハンドピースはカー杯握らない。 ●カー杯握ると溶着不良や故障の原因となります。 ●本機は、超音波振動の摩擦熱により溶着を行います。 熱溶着ではありませんので、軽く握るだけで溶着できます。

お願い	
ハンドピースの空打ちはしないでください。 ●溶着金具やホーンの消耗を早めます。	
お手入れの際は、ベンジン、シンナー等で拭かないでください。 また、殺虫剤、整髪用・掃除用等のスプレーをかけないでください。 ●樹脂や塗装部が変質したり、破損する恐れがあります。	

2.仕様一覧表

本体	
発振周波数	57kHz
最大出力	20W
最大消費電力	40VA
電源	100V～240V AC50 / 60Hz
外形寸法 (単位：mm)	発振器(本体) W 179 x D 183 x H 66 (突起部含まず) ハンドピース W 36 x D 125 x H 54 (開口部開いた状態)
重量	発振器(本体) 約1kg ハンドピース 約200g(出力コード含む)
出力コード	50cm(カールコード)

ACアダプタ

入力	100V～240V AC50 / 60Hz
出力	DC15V 3.3A
外形寸法(単位：mm)	W 62 x D 97 x H 33(突起部含まず)
重量	約350g
ケーブル長	AC側 1.8m / DC側 1.5m

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

各部の名称



3. 空打ち防止機構

1. GUPPA(キューパ)は空打ち防止機構がついています。
ホーンと溶着金具が接した時(空打ち時)、溶着の動作を止めます。

空打ちを防止することにより、溶着金具の寿命を延ばします。

ハンドピースの収納

1. 使用されない際は、ハンドピースホルダーに収納してください。
2. ハンドピースケース内部にマグネット、本体ケース内部には鉄板が組み込まれていますので、本体の上にハンドピースを固定することができます。
3. 作業台、シンクなど磁石がつく場所にも、水平であればハンドピースを固定することができます。

❗ ご使用前に持ち上げる際は、ハンドピースの先端を掴まないようにしてください。ハンドピースケース破損の原因につながります。
必ず、ケースの中心部よりも手前側を掴むようにしてください。

❗ ハンドピースを落下させないようにご注意ください。

❗ 必ず電源スイッチを切ってから収納してください。

4. 操作方法

1. ACアダプタのプラグをコンセントに差し込み、電源ジャックを本体に差し込みます。

❗ ACアダプタのLEDが点灯することを確認してください。

2. 本体の電源スイッチを入れます。

❗ スイッチ横の電源LEDが点灯することを確認してください。

3. 発振器のタイマーつまみを中央にセットしてください。

❗ 溶着する物(厚み、材質)によって、タイマーを調整してください。

4. ハンドピースを手に持ち、パッケージの溶着部をハンドピースの口元のホーンと接着金具の間に入れてください。

❗ 接着部は多少斜めにセットしても問題はありません。

5. ハンドピースを軽く握ってください。(カー杯握る必要はありません。)
握る時はハンドピースの上から真っ直ぐ力を加えるようにしてください。
本体の発振LEDが緑色に点灯します。LEDが消えたら溶着完了です。押さえを緩めてください。

ご使用上の注意

● パッケージの種類、厚みや材質によって溶着能力に差があります。

5. 溶着金具の交換方法（別売）

1. 電源プラグを抜いてください。電源が切れていることを確認します。
2. ハンドピースの溶着金具取り付け部裏面のビスをプラスドライバーではずし、溶着金具を取り外します。
3. 交換する溶着金具を、ネジ穴が重なるようにハンドピースに合わせ、プラスドライバーでビスを締め付けます。

! 溶着金具は、まっすぐ取り付けてください。
また、取り付け後にハンドピースを握って、ホーンと接着金具の噛み合わせが正常にできているか確認してください。

! ビスがしっかり締まっていることを確認してください。
ビスが緩んでいると溶着金具の取り付け状態がずれ、ホーンと溶着金具の噛み合わせができなくなり、正常に溶着できなくなる恐れがあります。

6. 故障と思われる前に

- 万一、本機の調子が悪いとき、修理を依頼される前にもう一度、次の点をお確かめください。

症 状	点検項目	対 策
電源が入らない。 (電源ランプが点灯しない)	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグが接続されているか。 ●本体とアダプタ、アダプタと電源コードが接続されているか。 ●アダプタのLEDが点灯しているか。 	電源プラグ、アダプタを接続してください。
ハンドピースを握っても 発振しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源スイッチが入っているか。 ●空打ちしていないか。 ●出力コードが断線していないか。 	スイッチをいれてください。 溶着物を挟んで握ってください。 修理を依頼してください。
溶着できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●溶着タイマーの設定時間が短い。 ●溶着タイマーが終了する前にハンドピースの握りを放していないか。 ●溶着金具が破損していないか。 ●先端ホーンが振動しているか。 	溶着タイマーの設定時間を長くしてください。 発振LEDランプが消えるまでハンドピースを握り続けてください。 溶着金具を交換してください。 修理を依頼してください。
ハンドピースが発熱した。	<ul style="list-style-type: none"> ●タイマーつまみを最大にして休みなく動作させていないか。 ●タイマー制御が効かなくなっていないか。 	いったん電源を切り、温度の冷めるのを待ってからご使用ください。 ご使用をただちにやめ、修理を依頼してください。

7. お手入れ

ホーン先端や溶着金具は、こまめに清掃を行ってください。

- ❗ 清掃を行う前に、必ず電源が切れていることを確認してください。
- ❗ ハンドピース先端に異物が付着していると、発振不良になる場合があります。溶着不良の原因となります。

清掃方法

アルコールを浸した布や綿棒・ブラシなどでホーン部(ハンドピース先端の金属部)や溶着金具などを拭いてください。

- ❗ 本体およびハンドピースの丸洗いは、絶対にしないで下さい。

8. アフターサービスについて

◆ 保証書について

保証期間は、お買い上げの日から半年間です。保証書には必ず、「お買い上げ日、販売店名、製造番号」などの記入があることをお確かめの上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

保証書に必要事項が記載されていない場合、たとえ保証期間中でも有償修理になる場合がありますので、ご注意ください。

また、保証期間内であっても使用上における破損・故障などについては、たとえ保証期間中でも有償修理になる場合がありますので、予めご了承ください。

◆ 修理を依頼される時

本書の「故障と思われるまえに」にしたがって調べていただき、直らない場合は次のようにしてください。

・保証期間中

製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご依頼ください。

*保証期間中でも有償修理になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

・保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご依頼ください。修理可能な製品については、ご希望により有償で修理致します。

*修理を依頼される場合、故障内容と故障箇所をできるだけ詳しくお申し出ください。

保証書

この保証書は、販売時点で販売店様が所定事項を記入されてはじめて効力を発します
必ず所定事項をご記入のうえ、お客様にお渡しくださいますよう、お願いいたします。

保証書は、顧客名簿やアフターサービスの資料として、大切に保管し、ご活用ください。

機種名	製造番号
お買い上げ年月日 年 月 日	保証期間 6ヶ月
お客様	ご住所 ご氏名 様 電話
	販売店 店名 住所 電話

朝日産業株式会社

〒456-0051 愛知県名古屋市熱田区四番一丁目11-22

TEL (052) 671-5191 FAX (052) 671-5196

朝日産業株式会社

名古屋市熱田区四番一丁目11番22号

本 社 TEL (052) 671-5191 FAX (052) 671-5196

修理・サービスセンター 名古屋市熱田区一番三丁目3-1